

2025 年度(第7回)日本口蓋裂学会認定師認定審査について

－ 小児歯科分野の手引き －

日本口蓋裂学会では、多職種連携のもと、より良い口唇裂口蓋裂治療を実践していただくべく、また、国民に対して本疾患治療の専門性の理解を深めていただくべく 2019 年度より日本口蓋裂学会認定師制度を導入しております。審査は、書類審査で行いますが、申請者自らの分野での口唇裂・口蓋裂治療の具体的症例に加え、他分野との連携した治療についての代表的な経験症例を重点症例として提出していただき、それら書類について認定師認定委員会において、他分野の委員の陪席のもと公正に審査を進めていきます。

申請者は、手引き内容に従い、経験が十分判断されるように説明と資料添付を行い、漏れや誤りなく、期限厳守で提出をしてください。

2025 年 9 月
認定師認定委員会
委員長 飯田征二

1. 小児歯科分野での資格要件の追加

原則として日本小児歯科学会における専門医・認定医であることを要します。

履歴書(書式 2)に専門医・認定医の登録番号を必ず記載して、認定証のコピーを提出してください。

2. 書式 4、5、6 の説明

書式 4: 重点症例記録(Word;A4(縦)プリントアウト)

主たる担当症例 2 症例

・申請者が、自ら治療・口腔管理・指導を担当した代表的症例の診療記録を提出してください。

・以下の 4 項目の症例区分から、原則として異なる 2 項目を選択してください。(無理な場合は同一区分の症例でも可)

a. 哺乳指導・管理 b. 歯科処置 c. 口腔衛生管理 d. その他

・診療内容・経過においては必要に応じて口腔内状況を図や歯式を用いて記載してください。長期にわたる口腔管理状況などの経過は要点や問題となった状況を抜粋して記載してください。

・他分野との治療連携を必ず付記してください。提出記録の治療と直接の関連がなくても、該当症例の一連の管理経過中での他分野との連携記録を付記してください。（例えば、哺乳指導、合併症における産婦人科、小児科との連携、歯科矯正や言語領域との連携など。）

・症例写真は内容に応じて、状況がわかる顔面・口腔内写真、エックス線写真等を提示してください。写真には撮影日、簡単な説明を付記してください。（*写真は個人情報の配慮をお願いします。）

・字数制限は設けませんが、各項目が A4 の 1～2 ページに収まる程度に記載ください。

書式 5: 報告症例記録 (Excel; A4 (縦) プリントアウト)

ミニレポート 5 症例

申請者が、重点症例を除く直接担当した症例の診療記録と社会活動の記録を提出してください。

・以下の 4 項目の症例区分から、異なる 2 項目以上を選択してください。

a. 哺乳指導・管理 b. 歯科処置 c. 口腔衛生管理 d. その他

症例ごとに診療内容の概要や要点を記載してください。

記載は明朝フォント 12Pt で記載し、A4 用紙 1 枚に症例毎に記載すること。

指導者がいる場合は指導者氏名を記載すること。

・社会活動の記録として、口唇裂・口蓋裂の小児歯科領域に関する講演、所属施設内外でのチーム医療に関わる活動などをその時期、開催場所を含め、5 症例記録の次の枠に具体的に項目ごとに記載してください。

書式 6:業績目録(Word;A4(縦)プリントアウト)

申請者の下記条件の業績を列記してください。

- ・ 口唇裂・口蓋裂に関する医療系雑誌、学術雑誌の論文あるいは著書など代表的なもの 1 件(共著者でも可)。
- ・ 口唇裂・口蓋裂に関する学会、研究会などで代表的な発表 2 件(共同発表者でも可)。
- ・ 注意事項を守って記入し、氏名の自署、捺印をしてください。

3. 問い合わせ、送付先

症例内容などの学術的質問、あるいは申請書類の記入方法、申請方法などの事務的質問は、日本口蓋裂学会事務局に、所属分野とご氏名を申し出て、メールでお問い合わせください。

一般社団法人日本口蓋裂学会事務局

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12

新宿ラムダックスビル 9F 株式会社春恒社内

jcpa-office@shunkosha.com